

大分市の自然環境マップ

大分川下流域 P11

1年間を通じて多くの鳥が生息しており、冬鳥のカモ類やカモメ類、夏鳥のオオソシキリが見られます。



護国神社の森 P10

境内(けいだい)はアラカシなどの林が広がり、春はサクラなどの花、夏は昆虫採集、秋はどんぐり拾いなど、四季の自然を楽しめます。



乙津川

ハマツツナ・ハマサジなどの植物、トビムシ・ゴカイ・カニ・貝の仲間が多く生活しています。



大在干潟(ひがた) P9

干潟とは、河口付近で満潮(まんちょう)のときに水にひたされ、干潮(かんちょう)の時には陸上に現れる泥(どろ)や砂(すな)のできた浜(ま)のことをいいます。



柞原八幡宮の森 P12

柞原八幡宮(ゆすはらはちまんぐう)の森はイチイガシ・コジイ・イスノキなどの常緑広葉樹が生い茂(しげ)って、今も原生林の姿を保っています。



七瀬川自然公園 P15

せせらぎでは、カジカガエル・カマツカ・ゲンジボタル・カゲロウ類・トビケラ類などの水生動物が観察できます。



七瀬川上流

豊かな自然河川にはツルヨシやネコヤナギなどが見られ、川にはカワムツ・タカハヤ・アカザなど、多くの魚類がすんでいます。



霊山 P13

駐車場から一周巡回できるコースがあります。寺のすぐ上の弁天(べんてん)池付近は、オオイタサンショウウオの生息地です。



河原内川 P16

一面にツルヨシ群落があり、ハグロトンボやハンミョウなどの昆虫類、川にはオイカワ・ドンコなどの魚が泳ぎます。



青少年の森 P14

県民の森の施設である展示館を起点として人工池周辺、キャンプ場周辺、丸塚(まるつか)広場周辺で自然散策(さんさく)ができます。



下判田の水田等

里山環境には、耕作水田や素掘(すぼり)水路などの多様な環境があり、ドジョウやアカハライモリなど多くの生きものがすんでいます。



佐賀関半島 P17

南岸にはハマモトやウバメガシなどが、北岸にはハマビワなどが見られます。黒ヶ浜(くろがはま)にはじゃもん岩の円礫(えんれき)が見られます。



神崎海岸

砂浜には、コウボウシバ・コウボウムギ・ハマビルガオ・ハマゴウなどの海浜植物が群落を作っています。



九六位山 P8

円通寺(えんつうじ)の参道には市の名木であるイチヨウなどの大木が、キャンプ場には緑のじゅうたん状の草原が見られます。



高尾山自然公園 P7

コジイなどの常緑広葉樹林、冬に葉を落とすコナラなどの落葉広葉樹林など、自然の林の様子が見られます。

